

2020年度 石油コンビナート等防災本部訓練 の結果について

2021年3月 書面開催

防災管理者等研修会・コンビナート事業所保安対策推進連絡会

神奈川県 暮らし安全防災局 防災部 消防保安課

石油コンビナート等防災本部

本部員

本部長

知事

第三管区海上保安本部長

県警本部長

市長（横浜・川崎）

消防長（横浜・川崎）

特定事業所の代表

陸上自衛隊 連隊長

知事部局の職員

【事務局】

消防保安課

防災体制の充実

2015年度の石油コンビナート等防災計画の見直し時に
石油コンビナート等防災本部等の防災体制の充実を図ること
とした

項目	防災体制の充実に向けた主な対応
関係機関の 情報共有	<ul style="list-style-type: none">大規模地震発生時の被害情報の報告方法の充実災害の初期段階において、応急対策上必要な取扱物質の種類などの情報を消防機関に伝える体制の整備各種情報通信手段の機能確保
関係機関の 連携体制	<ul style="list-style-type: none">合同立入検査の実施大容量泡放射システムの円滑な輸送に向けた協定の締結
住民等への 情報伝達	<ul style="list-style-type: none">社会混乱防止のための災害広報の積極的な実施
教育・訓練 体制の充実	<ul style="list-style-type: none"><u>防災訓練の充実</u>

1. 情報受伝達訓練 (2020年8月20日実施)

特別防災区域での災害発生時に、関係機関が特定事業所の被害状況を迅速に把握・共有する体制を強化するため、FAX等による情報受伝達訓練を実施

2. 合同図上訓練 (2020年11月10日実施)

東京都大田区を震源とする大規模地震により、ENEOS(株)根岸製油所の浮き屋根式危険物タンクで火災が発生し、東亜石油(株)京浜製油所のLPGタンクでガス漏えいからの火災が発生するといったシナリオに基づく講義形式の訓練を実施

情報受伝達訓練の概要

■ 参加機関

71機関

神奈川県くらし安全防災局、横浜市総務局・消防局、川崎市総務企画局・消防局、各特定事業所(59事業所)、各地区共同防災協議会(7団体)

■ 被害想定

- 平日昼間にコンビナート地域で震度5弱を観測
- 津波の発生のおそれなし

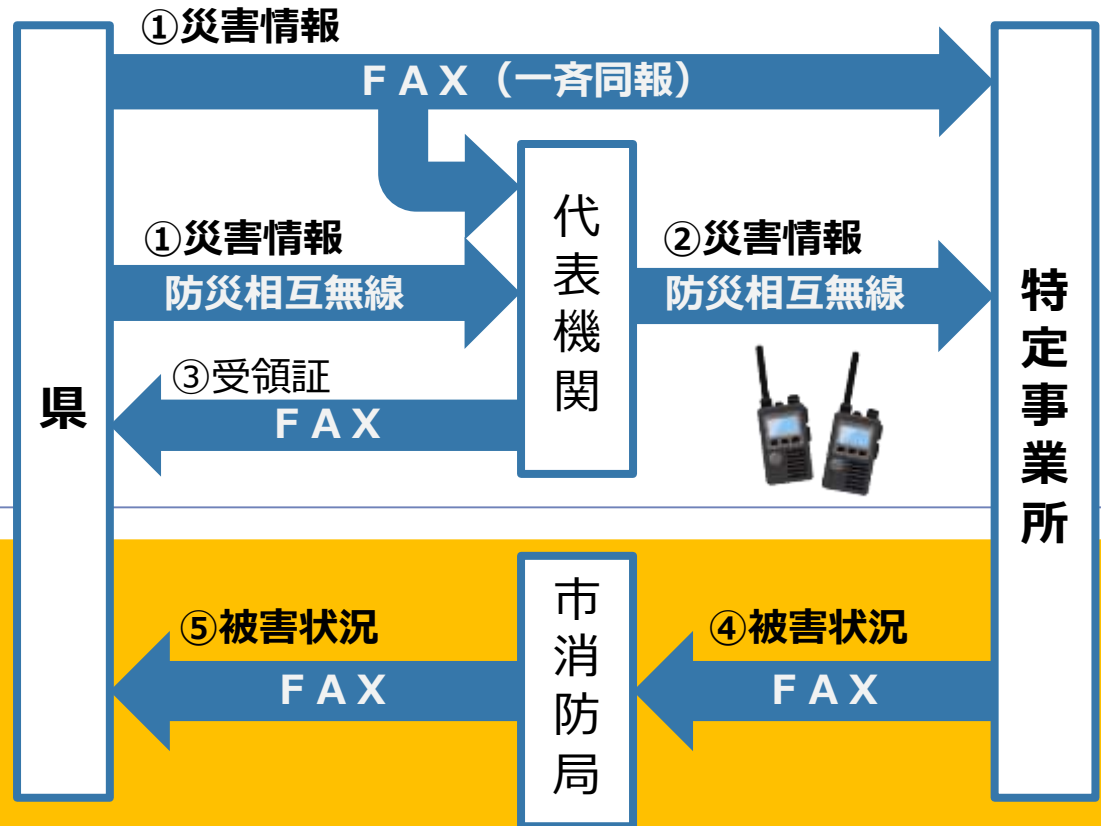
■ 訓練方法

FAX及び防災無線を用いて県から災害情報を発信後、特定事業所が被害状況を市消防局経由で県等へ伝達した

※毎偶数月に県危機管理対策課が実施しているFAX一斉同報試験と併せて実施

情報受伝達訓練の流れ（イメージ）

ファクシミリ一斉同報運用要領※1
に基づく手順（偶数月20日試験）



被害状況等把握マニュアル※2
に基づく手順
（情報受伝達訓練で実施）

※1 「神奈川県石油コンビナート等特別防災区域 ファクシミリ一斉同報運用要領」

※2 「地震・津波発生時における石油コンビナート施設被害状況等把握マニュアル」
（<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/a2p/cnt/f5050/p673464.html>）

情報受伝達訓練の実施結果

□ 訓練参加事業所のほぼ全てからFAX報告があった。

□ 報告の遅れや報告のない事業所が若干数あった。

… 事業所内の調整不足

… 送信時の手違い

… 受信確認のみで送信不要と思っていた

などの理由による



訓練では県送信FAXを災害発生の場合としていますが、
実災害時には、自発的な被害状況報告（FAXの送信）が
必要となります。

有事に備え、報告様式を常備するなど、
今後とも、**不測の事態への体制作り**にご協力をお願いします！

※2021年度も同様に訓練を実施予定です。（2021年8月20日（金）10:00～12:00予定）
改めてお知らせしますので、ご協力よろしく願いいたします。

1. 情報受伝達訓練 (2020年8月20日実施)

特別防災区域での災害発生時に、関係機関が特定事業所の被害状況を迅速に把握・共有する体制を強化するため、FAX等による情報受伝達訓練を実施

2. 合同図上訓練 (2020年11月10日実施)

東京都大田区を震源とする大規模地震により、ENEOS(株)根岸製油所の浮き屋根式危険物タンクで火災が発生し、東亜石油(株)京浜製油所のLPGタンクでガス漏えいからの火災が発生するといったシナリオに基づく講義形式の訓練を実施

合同図上訓練の概要

■ 参加機関

10機関 計50名

神奈川県くらし安全防災局、川崎市総務企画局、川崎市消防局、横浜市総務局、横浜市消防局、神奈川県警察本部、第三管区海上保安本部、ENEOS(株)根岸製油所、東亜石油(株)京浜製油所、神奈川・静岡地区広域共同防災協議会

■ 被害想定

- ENEOS株式会社 根岸製油所
 - ・ 原油タンクでリム火災が発生し、全面火災へと発展する
 - ・ 棧橋配管フランジ部から海上へ原油が漏えい、風により漏えい範囲が広がる
- 東亜石油株式会社 京浜製油所
 - ・ LPGタンクからガスが漏えいし、火災となり、爆発の危険性が生じる

合同図上訓練の概要

■ 訓練方法

- 予め公開されたシナリオに基づくスライド資料を用いた講義形式
- シナリオを4つのフェーズに分け、災害対策本部を主体とした情報の受伝達等、各フェーズにおける各機関の主な活動や根拠規程等について、各機関講師より初任者に向けた講義を行った



合同図上訓練の実施結果

■ 成果

- 初任者等に対し、コンビナート災害に対する各機関の対応に関する理解や全体像の把握に役立てることができた
- コンビナート災害に対する行政、事業所等の関係機関同士の相互理解や連携強化を深めることができた

<参考>

- 神奈川県石油コンビナート等防災アセスメント調査
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/a2p/cnt/f5050/p714212.html>
- 川崎市臨海部防災対策計画について
<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/15-3-40-1-6-0-0-0-0-0.html>
- 横浜市石油コンビナート等防災対策編
<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/keikaku/kombinat/>



合同図上訓練の実施結果

■ 課題

- 講義形式訓練は新たな取組みであったため、資料づくりや講義方法に多くの課題が挙げられた

例) 機関毎の講義での内容の一部重複や、機関間連携に係る部分が分かりづらい等

課題を踏まえた改善を行い、今後も応急活動体制の強化に向けた訓練の充実を図っていきます。

各事業所においても、必要な情報を迅速かつ的確に行政機関へ提供できるような体制作りをお願いします！